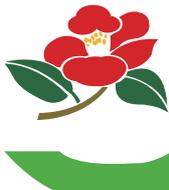


# 市議会だより

大室山 小室山



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。



## 共に新たな市政を担う 市長と市議会

### 主な内容

- 臨時会の概要……………【 P. 2】
- 12月定例会の概要……………【 P. 4】
- 決算大綱質疑（8議員が質疑）……【 P. 7】
- 委員会だより……………【 P. 11】
- 常任委員会行政視察……………【 P. 12】





# 臨時会で審議した議案等



臨時会を1月6日から1月16日までの11日間の会期で開催しました。

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市議第33号	伊東市印鑑条例の一部を改正する条例	地方公共団体情報システムの標準化に関する法律（令和3年法律第40号）に基づき実施する印鑑登録システムの標準化に伴う改正で、印鑑登録原票及び印鑑登録証明書の性別の記載有無について、自治体ごとに選択できることとなり、本市においては性的マイノリティへの配慮から性別記載を廃止するため、登録事項に係る該当項目を削除するほか、所要の改正を行うもの	市長	全会一致で可決
市議第34号	伊東市副市長定数条例の一部を改正する条例	昨今の社会情勢の変化及び市が取り組むべき行政課題の状況並びに突発的に起こる不測の事態に対応するため、副市長登用を弾力的かつ柔軟に行う必要があることから、現行2人と定める副市長の定数を2人以内に改めるもの	市長	全会一致で可決
市議第35号	伊東市職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例	育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律（令和6年法律第42号）の施行に伴う改正で、育児期の柔軟な働き方を実現するための措置等について新たに規定するほか、所要の改正を行うもの	市長	全会一致で可決
市議第36号	伊東市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律（令和7年法律第5号）の施行に伴う改正で、育児を行う職員の職業生活と家庭生活の両立をより推進するため、部分休業制度について拡充を行うもの	市長	全会一致で可決
市議第37号  討論	伊東市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律（令和6年法律第47号）により、令和7年4月から児童福祉法（昭和22年法律第164号）において、乳児等通園支援事業、いわゆるこども誰でも通園制度が創設されたことに伴い、利用乳幼児が心身ともに健やかに育成されることを保証するため、本市における乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する最低基準について新たに条例を制定するもの	市長	全会一致で可決
市議第38号	伊東市中小企業及び小規模企業振興基本条例	市内の中小企業者及び小規模企業者が、本市経済の発展に果たす役割の重要性に鑑み、その振興に関して基本理念を定めることで、市及び中小企業等支援機関の責務、中小企業者等、金融機関、教育機関等及び市民の役割を明らかにするとともに、その施策の展開を図ることで中小企業者等の成長、その事業の持続的発展及び地域経済の活性化並びに市民生活の向上に寄与することを目的として、新たに条例を制定するもの	市長	全会一致で可決
市議第39号	令和7年度伊東市一般会計補正予算（第6号）	歳入において、子育て応援手当支給経費に係る国庫補助金、歳出において、子育て応援手当の支給に係る経費、生徒・児童の保護者の負担軽減を図るための給食費相当分の補助金等として、1億2,883万4,000円を追加し、財務会計システム更新事業、学校給食センター調理運搬洗浄業務委託事業等についての債務負担行為を設定するもの	市長	全会一致で可決
市選第4号	副市長選任の同意について	近持剛史氏（玖須美元和田）新任	市長	全会一致で選任に同意
市議第40号	令和7年度伊東市一般会計補正予算（第7号）	歳入において、物価高騰対策生活支援事業に係る国庫補助金、歳出において、長引く物価高騰の影響を受けている全市民に対し、一人あたり5,000円の現金給付を実施するための経費3億5,000万円の追加	市長	全会一致で可決

本会議で行われた討論の概要  
※賛成・反対と、登壇順に掲載。会派構成は  
下記の市議会内の会派構成をご覧ください。

## 市議第三十七号

### 《賛成》重岡秀子議員

こども誰でも通園制度は親の就労などの条件ではなく、子供の成長発達のためにも保育が可能となった点は意義がある。しかし、一か月に一〇時間では園に慣れにくい問題や、保育士の配置の困難性もあり、一時預かり制度や現在の保育制度の柔軟な運用なども含めて、今後の制度改革に期待しつつ、賛成とする。

### 《賛成》政和会

#### 犬飼このり議員

保護者にとって便利なサービスではなく、子供主体の視点に立った、子供たちの成長のための制度として定める条例である。制度の漏れで受けられない子をつくらないよう、既存制度との違いを明確にし、子供への影響、人材確保、横断的なサポート体制をもって検証し、無理のない制度となることを望み賛成する。



市議会では、市民の皆様へ情報をお届けするため、ホームページを開設しています。主な内容は次のとおりとなっていますので、ぜひご覧ください。

- 市議会の仕組み
- 市議会の構成
- 議長・副議長日程表
- 議員名簿
- 定例会・臨時会
- 定例会・臨時会会議録
- 委員会・全員協議会要点記録
- 市議会の傍聴について
- 議会閉会中の活動状況
- 請願・陳情・決議・意見書とは？
- 行政視察
- いとう市議会だより
- 歴代議長・副議長一覧
- 市政の概要
- 市議会の情報公開請求
- 市議会図書室のご利用案内

## 「声のいとう市議会だより」のおしらせ

市議会では、目の不自由な方に議会の情報をお届けするため、エフエム伊東なぎさステーションに協力をいただき、市議会だより紙面の一部を音訳した「声のいとう市議会だより」を作成しています。

収録の内容は、議員による一般質問や大綱質疑が中心となりますが、皆さんからのご意見やご感想をもとに、よりよいものを作成していきたいと思っています。

この「声のいとう市議会だより」は、市議会ホームページにデータを掲載するほか、ご希望の方へ内容を収録したカセットテープを配付しています。

テープの配付は原則視覚障がいのある方が対象となります。配付をご希望の方は市役所社会福祉課障害福祉係までお問い合わせください。

社会福祉課 障がい福祉係  
☎〇五五七三三二一五三三

## ことばの解説

### 常任委員会

議会から付託された議案の、より詳細な審査及び所管事務調査等を行うため設置するものです。

伊東市では条例により、総務、観光建設、福祉文教の三つの常任委員会が設置されており、議員は三委員会のいずれかに所属しています。

### 指定管理者制度

地方公共団体が住民の健康増進や福祉向上のために設置した福祉・教育・文化・体育等の公の施設の管理運営を、指定した民間事業者・団体等(指定管理者)に行っていたり、住民サービスの向上、効率化等を図ろうとする制度。

指定管理者を指定しようとするときは、指定期間などに関し、あらかじめ議会の議決が必要です。

## 市議会内の会派構成 (令和八年二月一日現在)

### ■伊東未来

- 河島紀美恵 議員
- 大竹 圭 議員
- 青木 敬博 議員
- 大川 勝弘 議員
- ◎杉本 一彦 議員

### ■正風クラブ

- 村上 祥平 議員
- 鈴木 絢子 議員
- ◎佐藤 周 議員
- 宮崎 雅薫 議員

### ■公明党

- ◎長沢 正 議員
- 竹本 力哉 議員
- 篠原 峰子 議員

### ■政和会

- 犬飼このり 議員
- ◎四宮 和彦 議員
- 浅田 良弘 議員

### ■自由民主

- 伊東 中島 弘道 議員
- 虫明 弘雄 議員
- ◎井戸 清司 議員

### ■会派に所属していない

- 片桐 基至 議員
- 重岡 秀子 議員

(◎) 会派代表者、  
会派構成議員は議席順)

# 令和7年12月定例会

## 令和6年度 一般会計・特別会計・企業会計決算を認定

12月定例会を11月21日から12月5日までの15日間の会期で開催しました。

### 決算概要説明(要旨)

#### 予算編成の背景

令和六年度一般会計当初予算は、本市を取り巻く諸課題や社会経済情勢の変化に対応した持続可能なまちづくりを着実に進め、安全・安心な市民生活を実感でき、一人ひとりが輝き、夢と希望を形にできる未来の実現を目指した編成とした。

#### 一般会計決算概要

一般会計歳入決算額は三三〇億六七七六万円で、対前年度比〇・一%の減、歳出決算額は三二一億六〇七五万円で、対前年度比二・〇%の増となり、歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、前年度を二五・四%下回る七億八五四五万三〇〇〇円であった。

歳入決算では、自主財源において、ふるさと伊東応援寄附金等の増加により対前年比を上回ったものの、市税が定額減税の影響によ

り対前年比を下回ったことから、全体で対前年度一・八%の減、依存財源において、定額減税の減収補填により地方特例交付金が大幅増加となったことから、全体で対前年度比一・七%の増となり、歳入全体では〇・一%の減少となった。

歳出決算では、経常経費において、退職者の増加などにより人件費が対前年度比九・三%、定額減税補足給付金給付事業などにより扶助費は対前年度比三・三%増加した。

投資的経費については、普通建設事業において、介護サービス提供体制整備促進事業や緊急輸送ルート沿道建築物耐震化助成事業などが完了したものの、耐震性貯水槽建設事業や城ヶ崎海岸遊歩道事業、中学校校舎トイレ改修事業などを実施したことから、対前年度比で六・九%増加した。

また、物価高騰による市

### 令和6年度 一般会計・特別会計・企業会計決算

◎全会一致で認定 ○賛成多数で認定

#### 一般会計決算

歳入	歳出	審議結果
330億6,776万円	321億6,075万円	○

#### 特別会計決算

会計	歳入	歳出	審議結果
競輪事業	345億3,214万円	341億4,927万円	◎
国民健康保険事業	79億3,732万円	78億1,061万円	◎
土地取得	2,598万円	2,579万円	◎
霊園事業	3,307万円	3,277万円	◎
介護保険事業	94億8,605万円	93億1,679万円	◎
後期高齢者医療	27億5,950万円	27億2,235万円	◎
合計	547億7,406万円	540億5,758万円	-

※計数は、それぞれ1万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳は一致しない。

#### 公営企業会計決算

区分	収入	支出	審議結果	
病院事業	収益的収支	4億4,280万円	3億5,518万円	◎
	資本的収支	1億 275万円	1億6,387万円	
下水道事業	収益的収支	16億1,326万円	15億6,387万円	◎
	資本的収支	8億8,550万円	13億 211万円	
水道事業	収益的収支	16億1,261万円	15億6,334万円	◎
	資本的収支	3億2,563万円	11億8,791万円	

内経済の落ち込みを防ぐため、プレミアム付商品券販売事業を実施するとともに、指定管理者原油価格高騰対策補助金や経済変動対策資金貸付金利子補給金などにより、事業者支援、雇用の維持に引き続き努めた。

基金や競輪事業収益金活用基金への積立てなど、将来を見据えた財源の確保を図ることができていることから、健全化判断比率や経常収支比率、実質収支比率などの財政指標も含め、その健全性は維持できているものと判断している。

#### 本市の財政状況

本市の財政は、これまで継続的に実施してきた様々な改革への取組により、適正とされる規模の黒字を確保するとともに、財政調整



# 令和7年12月定例会

## 35件の議案等を審議、決定

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市認第17号	令和7年度伊東市一般会計補正予算(第4号)専決処分報告承認について	令和7年10月31日の市長不信任の再議決に伴い、令和7年12月14日に実施されることとなった、伊東市長選挙の執行経費に係る補正予算について、令和7年11月4日付で専決処分を行ったことの報告承認	市長職務代理者	全会一致で承認
市報第6号	令和6年度決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定に基づく健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)及び公営企業会計の資金不足比率の報告	市長職務代理者	報告・質疑のみ
市議第11号	令和6年度伊東市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	令和6年度伊東市下水道事業会計未処分利益剰余金8,326万8,097円のうち、4,803万5,470円を減債積立金へ積み立て、残りの3,523万2,627円を資本金へ組み入れることについて、地方公営企業法の規定により、議会の議決を求めるもの	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第12号	市の義務に属する損害賠償の額を定めることについて	令和7年9月5日、台風15号接近に伴う風雨により、伊東市水道事業が管理する水道用地内の樹木の枝が落下し、隣接地の自家用自動車の一部に損傷を与えたもので、その損害賠償額の決定について議決を求めるもの	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第13号	伊東市児童・身体障害者福祉センターはばたき、伊東市中央児童館及び伊東市玖須美児童館の指定管理者の指定について	公の施設の管理運営について、それぞれ指定管理者を指定するもの	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第14号	伊東市重度障害者デイサービスセンターひだまりの指定管理者の指定について	同上	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第15号	伊東温泉観光・文化施設東海館の指定管理者の指定について	同上	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第16号	宇佐美漁港、富戸漁港、八幡野漁港及び赤沢漁港の指定管理者の指定について	同上	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第17号	伊東高等職業訓練校の指定管理者の指定について	同上	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第18号	伊東市シルバーワークプラザの指定管理者の指定について	同上	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第19号	伊東市立八幡野保育園の指定管理者の指定について	同上	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第20号	宇佐美コミュニティセンターの指定管理者の指定について	同上	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第21号	小室コミュニティセンターの指定管理者の指定について	同上	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第22号	八幡野コミュニティセンターの指定管理者の指定について	同上	市長職務代理者	全会一致で可決

議案番号	件名	概要	提出者	審議結果
市議第23号	富戸コミュニティセンターの指定管理者の指定について	同上	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第24号	伊東市生涯学習センター池会館の指定管理者の指定について	同上	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第25号	伊東市生涯学習センター赤沢会館の指定管理者の指定について	同上	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第26号	伊東市生涯学習センター荻会館の指定管理者の指定について	同上	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第27号	令和7年度伊東市一般会計補正予算(第5号)	歳入において、国県の補助金、前年度繰越金、競輪事業収入、地方債等、歳出において、生涯学習センター中央会館修繕料、学校給食センター等における賄材料費、競輪事業収益金活用基金積立金等として、9億968万9,000円を追加し、放課後児童健全育成事業委託料、公の施設に係る指定管理委託料等についての債務負担行為を設定	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第28号	令和7年度伊東市競輪事業特別会計補正予算(第1号)	歳入において、車券売り上げが好調に推移し、当初予算を大幅に上回る見込みによる増額、令和6年度歳入歳出決算確定による繰越金の整理、歳出において、勝者投票払戻金をはじめとした売上連動経費や施設改善基金への積立金のほか、一般会計への繰出金等の増額など66億8,187万2,000円の追加	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第29号	令和7年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	歳入において、令和6年度歳入歳出決算確定に伴う繰越金や基金繰入金金の整理、子ども子育て支援金制度導入に向けたシステム改修経費に係る国庫補助金の計上、歳出において、当該システム改修経費、県支出金返還金の計上など2,804万円の追加	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第30号	令和7年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)	歳出において、不足が見込まれる居宅介護サービス給付費負担金の増額、保険給付支払準備基金への積立金の追加、事業費確定に伴う国県支出金返還金の計上など、歳入において、歳出の給付費の増額に伴う国県支出金や一般会計負担金の増額、前年度決算確定に伴う繰越金の計上を主な内容として、2億5,645万4,000円の追加	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第31号	令和7年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	歳出において、広域連合に対する療養給付費負担金や保険料負担金の追加など、歳入において、前年度決算確定に伴う繰越金のほか、令和6年度事業費確定に伴う広域連合からの負担金返還金の増額などを主な内容として、7,502万3,000円の追加	市長職務代理者	全会一致で可決
市議第32号	令和7年度伊東市水道事業会計補正予算(第1号)	収益的支出において、倒木が発生した水道施設の樹木伐採に係る手数料と、損害賠償金として124万8,000円を追加	市長職務代理者	全会一致で可決
市認第18号 市認第27号	令和6年度伊東市一般会計歳入歳出決算、特別会計歳入歳出決算6件、企業会計決算3件	地方自治法第96条第1項第3号に基づく各会計の令和6年度歳入歳出決算の認定	市長職務代理者	4ページの表をご覧ください
発議第9号	地方自治法第178条による地方公共団体の長の議会解散権に関する制度の見直しを求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員5名*	賛成多数で可決

※各会派代表者全員

## 本会議で行われた

### 討論の概要

※賛成反対ごと、登壇順に掲載。会派構成は三ページをご覧ください。

#### 市認第一八号

##### 《賛成》政和会

犬飼このり議員

予算を立てた市長も前市長も不在であるが、あらゆる事業で市民との合意形成をはかり計画を進めるべきである。予算執行する前に検証することが大事であり、次の市長にもしっかりとつなげてほしい。白紙となった図書館にかかる費用を学びの投資として活かすこと、同じ過ちを繰り返さないことを願い賛成する。

##### 《反対》重岡秀子議員

産業振興策は最も重要な課題であり、駅前広場整備や、伊東港伊東海岸整備構想、商店街振興策をもっと総合的に推進すべきで、市街地のイベントや企業誘致等も委託業者と行政の連携をさらに深めるべきである。子育て支援の充実が評価

できるが、不登校対策等は特色ある施策としてさらに強化すべきと考え反対する。

#### 発議第九号

##### 《賛成》伊東未来

大竹圭議員

二元代表制の根幹である長と議会の対等な関係を守るべきである。市で起きた事案を重く受け止め、行政監視機能を損なう恐れがある解散権の濫用は防がねばならないと考え、地方自治の健全性を保つための制度見直しを国に強く求める。市民の利益を最優先し、公正な市政運営を期する立場から、本意見書に賛成する。

##### 《賛成》政和会

犬飼このり議員

市長に対する不信任決議は全会一致で可決された。二元代表制は首長と議会が対等であるが首長の権限が強くと、議会の暴走を抑止できても首長の暴走は止められない。地方自治の正常な運営つまりは住民の安全安心な暮らしを担保すべく、

議会解散権の濫用を防ぐため制度の見直しは急務と考え、本意見書に賛成する。

##### 《反対》重岡秀子議員

議会の解散権は民意で選ばれた首長が、議会との力関係でささいなことでも不信任に追い込まれる混乱等を解決する制度であると考える。しかし、この発議は恣意的な解散を防ぐ制度的仕組みの具体例やその基準例が全く示されず、拡大解釈により実質的に解散の権限を失う制度につながる心配があると考え、反対する。

##### 《反対》片桐基至議員

前市長は除籍を認めて謝罪し、多数の専決処分や補正予算を執行した。不祥事に目を背け、市政を停滞させたと言いつれない。多数決で全会一致だからと効力が増すものでもない。一方の権限のみを弱めれば、二元代表制そのものが形骸化する。見直すべきは制度ではなく、対立を深める政治姿勢であるため反対する。



# 決算大綱質疑



要旨はこちら

会派及び会派に所属していない議員から8議員が質疑しました

～決算概要説明及び各会計決算に係る議案について～

(文章の掲載量は、会派の人数に応じており、登壇順に掲載しています。会派構成は3ページをご覧ください。)



伊東未来  
おおかわかつひろ  
(大川勝弘議員)



伊東駅周辺地区整備事業について、進捗状況、成果及び今後の見通しを伺う

#### 市長職務代理者

住民説明会の意見をもとに計画案の一部を見直し、三月中に都市計画決定を行う予定である

伊東駅周辺地区整備事業については、現在の伊東駅ロータリーにおける様々な交通課題の解消や歩行空間を確保するとともに、伊東駅周辺地区の活性化を図り、観光都市伊東の玄関口としてのにぎわいを創出するきっかけとなるよう、伊東駅前広場を先行して整備する事業である。

令和六年度はパブリックコメントや住民説明会で頂いた意見をもとに計画案の一部見直しなどを実施し、

都市計画審議会への諮問を経て、三月中に都市計画決定を行う予定であり、令和九年度の工事着工を目指して事業を進めていく。

『その他の質疑』一六項目



伊東未来  
かわしまきみえ  
(河島紀美恵議員)



小・中学校給食の事業の評価及び課題を伺うとともに、今後の見通しについて伺う

市長職務代理人

保護者の経済的負担の軽減につながったため、様々な工夫により、安全・安心な給食の提供を図っていく

保護者に負担いただく給食費はこれまでどおり据え置きとし、差額分を公費で負担したことから、物価高騰に直面する保護者の経済的負担の軽減につながったものと認識している。

今後の課題としては、物

価高騰による公費負担は増え続けている状況にあり、令和七年度から実施している給食費無償化を継続するためには、さらなる予算措置が必要となることから、残菜量調査を検証し、作量の見直しを行うことなど、様々な工夫をすることにより、引き続き安全・安心な給食の提供を図っていく。

図書館に対する維持管理の内容及び今後の課題について伺う

市長職務代理人

維持管理の内容は、図書館及び公民館の利用案内、施設の警備、修繕等が挙げられ、今後も必要な対策を計画的に進めていく

伊東図書館を含む生涯学習センター中央会館の維持管理の内容としては、図書館及び公民館の利用案内、施設の警備、各種設備機器の管理、館内清掃、修繕等が挙げられ、令和六年一二月に発生した外壁の崩落に

対する工事請負費及び修繕費の一部を令和七年度に繰り越した。

今後の課題としては、老朽化対策を第一に考えているが、新図書館への移転を見据え更新を見送っていた閉架書庫の書架の入れ替えやトイレの洋式化など、必要な対策を計画的に進めていく。

『その他の質疑』七項目



正風クラブ  
まさきあやこ  
(鈴木絢子議員)



不登校対策の取組及び成果を伺う

市長職務代理人

別室登校相談員を配置し、直接的な支援や連絡調整を図ることで対応が安定した

別室登校相談員を南中学校に一人、北中学校と宇佐美中学校に一人、門野中学校と対島中学校に一人、計

三人配置し、別室登校をしやすい環境の整備を図り、個々の実態に合わせて学習に取り組んでいる。

令和六年度に実施したアンケートでは、回答した生徒全員が別室は過ごしやすくと回答しており、相談員と生徒は良好なコミュニケーションがとれていることから、相談員の配置は学びの保証として有効であると、学校からも高い評価を得ている。また、相談員が直接的な支援や学校との連絡調整を図ることで、学校における不登校対応が安定するという成果を上げている。

ふるさと伊東応援寄附金が増額に結びついた具体的な取組内容及び今後の寄附金確保に向けた方策を伺う

市長職務代理人

新たなポータルサイトを導入し、今後はトラベルポイントの取扱等による寄附金額の増加につなげていく

新たなポータルサイトとして、本市への送客取扱高から多額の寄附が期待できる「一休.comふるさと納税」を導入し、寄附単価の高い寄附者へアプローチを行うことにより、同サイト単体で一億円を超える寄附金を集めることができた。今後は観光地である本市の特性を生かしたトラベルポイント等の取扱いを開始するとともに、新たなポータルサイトの開設を進めることなどにより寄附金額のさらなる増加につなげていく。

下水道整備率が七〇・四%であったことの評価及び今後の進め方について伺う

市長職務代理人

整備率は高くはないと認識しており、事業計画区域の見直しを進める

未整備区域の大部分は家屋の密集度が低く、下水道を整備しても費用対効果が期待できない区域であるため、合併処理浄化槽への転

換等も視野に入れ、事業計画区域の見直しを進める。『その他の質疑』二九項目



公明党  
しのほらみねこ  
(篠原峰子議員)



令和六年度に実施した伊東市民病院の医療従事者確保に係る取組について伺う

#### 市長職務代理者

就業しやすい環境整備を進めるとともに、指定管理者のネットワークを活用し医療従事者の確保に尽力した

看護師等を対象とした奨学金事業や院内保育所運営への支援として、交付金を交付することで就業しやすい環境の整備をした。

また、指定管理者である地域医療振興協会においては、全国展開をしているスクールメリットを生かし、関連施設間での看護師等の再配分を図るとともに、研

修医の受入れや大学の医局など協会のネットワークを活用した採用活動により医療従事者の確保に尽力した。

学校再編に関する協議をどのように進めてきたか伺う

#### 市長職務代理者

教育問題懇話会において再編案をまとめ、これを基に学校の適正配置に係る基本方針(案)を策定した

学校再編に関する幅広い意見を伺うため、選出団体地域性、年齢層を考慮した教育問題懇話会に、再編案をまとめ上げていただき答申をいただいた。答申を基に、教育委員会定例会及び総合教育会議において「伊東市立小・中学校の適正配置及び在り方についての基本方針(後期方針)(案)」を策定し、各地域において説明会を開催した。

反対を含め様々な意見があったこと、教育長が不在であることから、北中学校再編計画以外は決定を見送

っているが、今後、教育問題懇話会の答申を尊重する中で、児童・生徒、保護者等の意見を伺い、よりよい学びの環境づくりに努める。『その他の質疑』一一項目



政和会  
しのみやかずひこ  
(四宮和彦議員)



財政力指数が低下傾向の中、財政の健全性が長年維持されているが、どのような調整が図られているか伺う

#### 市長職務代理者

行財政改革による経費の節減や公債費の抑制、自主財源の確保などによって、財政の健全性が維持されている

サマーレビューをはじめとした行財政改革による経費の節減や公債費の抑制をはじめ、ふるさと伊東応援寄附金の増収や競輪事業収益金などの自主財源が確保

できていることや、近年は、大規模な建設事業を実施していないことから、地方債残高の増加が抑制されたことのほか、競輪事業収入を活用し文化施設整備基金を増額したことなどにより、健全化判断比率が抑えられたことなどから、財政の健全性が維持できているものと考えている。

予算執行率が平均九四％程度にとどまっている理由及び現在の執行率が妥当な水準にあると考えるか伺う

#### 市長職務代理者

国の施策や特別会計への繰出金など年度末まで執行額が予測できない事業が多いためと考えている

ふるさと伊東応援寄附金関連事業などにおいて不用額が多くなったことや、次年度への繰越明許費が主な要因となっている。不用額については、国の施策によるものや特別会計への繰出金など年度末まで最終的な

執行額が予測できない事業が多くなっていることなどから、執行率が九三・〇％となっているが、年間予定した事業を実施した結果であり、特段低い執行率ではないと考えている。『その他の質疑』二項目



自由民主 伊東  
しのあらいひろし  
(荒井弘明議員)



保育園等への待機児童を生じさせないためにどのような取組を行ってきたか伺う

#### 市長職務代理者

各園に対し詳細な聞き取りを実施し、可能な限りの受入調整に努めた

園の空き状況や実態について各園に対して詳細な聞き取りを実施し、園と相談の上、場合によっては利用定員を超えた受入を行うための調整に努めるなど、令和六年四月一日時点の待機

児童については、令和五年度に続きゼロ人であった。令和六年度においては医療的ケアが必要な園児の入所申込があったが、看護師を中心に保育体制の整備及び調整を図る中で受入を行い、年度を通じて可能な限り待機児童を生じさせないよう、様々な取組に努めている。

**有害鳥獣対策事業に関し、成果及び課題を伺う**

関係機関と連携し捕獲及び農作物等への被害防止に努め、より効率的な捕獲方法等の調査、研究を進める

伊東市鳥獣被害防止計画に基づき関係機関と連携し有害鳥獣の捕獲に努めたほか、会計年度任用職員二名を雇用して市内の農地及び住宅地等を巡回し、被害の実態調査や捕獲を実施しており、野生鳥獣による農作物や生活環境への被害防止に努めた。令和六年度はイノシシ二八六頭、鹿一三五

頭、猿一頭、ハクビシン三七匹、タイワンリス三九二匹を捕獲し、一定の成果を上げたと認識している。

『その他の質疑』二項目  
今後関係団体との連携に努め、駆除と被害防止の両面から対策を講じ、より効率的な捕獲方法等について調査、研究を進めていく。『その他の質疑』一八項目



会派に所属していない  
かたざりもとゆき  
(片桐基至議員)



水道事業会計における老朽管対策の実績、課題及び今後の計画について伺う

**市長職務代理者**

令和六年度は管路を約一・八キロメートル更新延長したが、耐用年数を超えているものが約一八九・四キロメートルあるため、限られた経営資源の中で更新優先度を評価し、人口減少等を勘案した効率的な更新に努めていく。

『その他の質疑』二項目



会派に所属していない  
しげおかひでこ  
(重岡秀子議員)

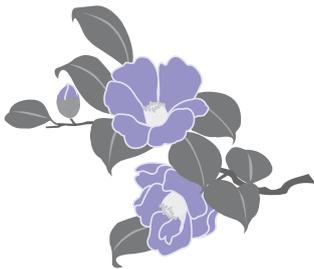


サテライトオフィス等推進事業は交流人口及び雇用拡大が目的だが、成果、経済効果及び今後の課題を伺う

**市長職務代理者**

オフィスの設置に伴う物品等の購入や賃借料等により本市への経済効果が表れているものと評価しており、市内に住所を有する方を従業員として新たに雇用するケースが少ないこと等が課題であると捉えている。

『その他の質疑』四項目



**閉会中の議会活動**

令和7年9月定例会閉会から  
令和7年12月定例会開会まで

- 10月24日・27日 新議員行政研究会
- 10月28日 全員打合会
- 11月7日 新議員行政研究会(視察)
- 11月13日 議会報編集委員会
- 11月14日 議会運営委員会



**ことばの解説**

**決算大綱質疑**

九月定例会において行われる決算概要説明及び決算に係る議案に対する質疑。質疑時間は、議員一人につき二〇分を基本とし、会派及び会派に所属していない議員により実施する。  
(※令和七年度は一二月定例会において実施)

**3月定例会の予定**

**2月20日(金)**  
**開会**

※日程等は、2月中旬の議会運営委員会において正式に決定します。

# 委員会だより(令和7年12月定例会)

～常任委員会及び予算・決算特別委員会分科会審査の中から、一部を抜粋～

ホームページにおいて、要点記録を公開しています。

要点記録はこちら



## 総務

### 委員会・分科会

**問** 自治会等支援事業における、会館整備費補助金を増額する理由を伺う。

**答** これまでは伊東市会館建設費補助金として、新築または購入に対する補助を実施してきたが、令和7年10月1日から、老朽化する会館の改修にも対応できるよう伊東市会館整備費補助金として改正したところ、利用が見込まれたためである。



補助金を活用して建築した会館

**問** 家庭用新工ネ・省工ネ機器導入支援事業費補助金の利用者を増加させるための取組を伺う。

**答** 補助制度についてホームページや広報いとうに掲載することで情報発信をしており、補助対象機器についても、時代の変化に応じて、利用が少ない機器は補助対象外とする一方、近年は電気自動車を追加するなど、利用者の増加に努めた。

## 観光建設

### 委員会・分科会

**問** 下水道事業会計における未収水の調査について伺う。

**答** 令和6年度に温泉汚水の再認定調査を実施したところ、全体数が約740件ほどあるうち、548件が対象となった。この中から、認定水量に乖離があったところなどを現地訪問により聞き取り調査を実施しており、大口使用者については、令和5年度と比較して認定水量が2万2,166立米増えている。

**問** 全日本まくら投げ大会の市内外へのPR活動について伺う。

**答** 市の公式SNSや観光ホームページを活用し、キャラクターやアイドルを起用したPRにより市外への発信力は強く、また、大会関係者が宿泊をするため、観光誘致の効果もあると分析しているが、全日本の冠を付していることもあるので、市民への認知度をより向上させ、市民と共に育て上げるイベントとして全国に発信をしていきたい。



昨年の全日本まくら投げ大会  
in伊東温泉の様子

## 福祉文教

### 委員会・分科会

**問** 学校給食の量は減っているのか伺う。

**答** 食材の高騰により、同じ栄養価の違う材料を使うことはあると思うが、全体としての量は変わっていない。食材の高騰が進んでいる中で、対応に苦慮しており、見た目の配給の仕方等でも変わると思うが、質を落とさないように懸命に取り組んでいるところである。



献立の一例

**問** 健康マイレージ事業の周知について課題と今後の方針を伺う。

**答** 健康マイレージは、健康診断等を受けると自動的にポイントがたまり、健康に意識がある人は毎年上位に入って景品が当たってうれしいという声もあることから、インセンティブになる部分をさらに広げ健診勧奨をする中で、健診のほか、健康教室、介護予防教室についても、併せて今後広げていきたいと考えている。

# 常任委員会 行政視察概要

常任委員会では先進事例などの調査・研修のため、3日間の行政視察を実施しました。  
詳細は市議会ホームページをごらんください。



## 総務委員会

● 一月二日

愛媛県東温市  
避難所整備強化事業について

● 一月二日

愛媛県今治市  
今治市クリーンセンター（バリクリン）について

● 一月三日

愛媛県松山市  
地域コミュニティアプリ「ピアッザ」の導入経緯及び活用状況について



研修の様子（松山市）

## 観光建設委員会

● 一月二日

大分県別府市  
温泉を活用した観光施策（インバウンド施策）について

● 一月二日

大分県豊後高田市  
昭和の町の取組について  
昭和の町案内人による施設視察について

● 一月三日

大分県大分市  
グリーンスローモビリティについて



グリーンスローモビリティに乗車（大分市）

## 福祉文教委員会

● 一月二日

福岡県那珂川市  
こどもの権利条例について

● 一月二日

福岡県大牟田市  
SDGs / ESD 推進事業について

● 一月三日

福岡県福岡市  
放課後等の遊び場づくり事業（わいわい広場）について  
中高生の居場所づくり事業について



研修の様子（福岡市）

## 編集後記

昨年、市長選挙が行われ、第二二代伊東市長が誕生しました。また、臨時会において、副市長も専任され、市政は、ようやく正常化され歩みを進めることになりました。

執行機関の長である市長と議決機関である市議会は、車の両輪のように対等な立場で、相互に抑制しあい健全で効果的な市政運営を実施してまいります。

表紙の写真は、市長と市議会が、共に協力して市民に有益な政策を実施するという決意の一枚です。

（竹本力哉）

### 議会報編集委員会

委員長	竹本 力哉
副委員長	村上 祥平
委員	大竹 圭
〃	犬飼このり
〃	虫明 弘雄

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ